

コロナ禍における第 74 回関西茶品評会への出品支援

対象者 土山町茶業協会・信楽町茶業協会

【普及活動のねらい】

本年 8 月に、甲賀市を会場に「第 74 回関西茶品評会」が開催されました。関西茶品評会は、茶の生産技術や品質向上、需要増進を目的に、岐阜県・愛知県・三重県・京都府・奈良県・滋賀県の 6 府県で、「普通煎茶」、「かぶせ茶」、「深蒸し煎茶」、「玉露」、「てん茶」の 5 つの茶種において優劣を競う品評会です。

令和 2 年以降、新型コロナウイルスの感染拡大によって、甲賀地域からの出品は低迷していましたが、品評会を通じて土山茶と朝宮茶のブランド力向上を図るため、コロナ禍に対応した出品体制の構築や出品茶の摘採製造指導により、品評会への出品を支援しました。

【普及活動の内容】

出品体制の構築支援

関西茶品評会での上位入賞には、一芯二葉で手摘みをする必要がありますが、コロナ禍で密を避け摘採・製造するのが困難で、出品を断念するか、機械摘みに切り替え上位入賞を諦める状況が続いていました。そこで、多くの出品点数を得るため、関係機関と連携し、土山町と信楽町の茶業協会に対して、出品茶摘採・製造時の新型コロナウイルス感染防止対策の提案や、これまで入賞経験の無い機械摘みの出品体制の整備を支援しました。

出品茶の摘採・製造支援

最高品質の出品茶を摘採するためには、摘採時期と摘採位置の見極めが重要です。茶業協会役員などとともに出品茶園を巡回し、最適な摘採日程を助言しました。また、摘採日には、一芯二葉の手摘み方法を摘み子さんに指導するとともに、機械摘みでは摘採位置をミリ単位で指導しました。摘採後は、製茶工場において、茶葉の品質が損なわれないよう細心の注意を払いながら、出品茶特有の製造方法を実演指導しました。



出品茶の機械摘み



出品茶の製造指導

【普及活動の成果】

こうした活動の結果、関西茶品評会には、甲賀地域から「普通煎茶」と「かぶせ茶」、「てん茶」の部に合計 46 点の出品があり、審査の結果、「普通煎茶」と「かぶせ茶」で甲賀市の生産者が 1 等 1 席の農林水産大臣賞を獲得されました。また、各市町の上位 3 点で競われる産地賞も甲賀市が「普通煎茶」と「かぶせ茶」で 1 位となるなど、土山茶と朝宮茶の生産技術のレベルの高さを内外に示すことができました。さらに、今回から新たに取組んだ機械摘み出品でも 24 点中 17 点が入賞するなど優秀な結果を残すことができ、今後のウィズコロナ時代に向けた少人数での出品体制に手ごたえを感じることができました。引き続き、関西茶品評会への出品を通じてブランド力の向上につなげたいと考えています。